

令和7年度 学校経営方針

豊後高田市立田染中学校

学校教育目標：郷土を愛し、友と共に深く学び、夢に挑戦する生徒の育成

【めざす生徒像】
【校訓】

【探究】自ら課題を見つけ、解決に向け目的をもって努力する生徒
【協力】自分の意見を持ち、課題解決に向け他者と協働する生徒
【健康】自己管理ができ、進んで健康・体力づくりに取り組む生徒

育成を目指す資質・能力：協働する力&挑戦する力(積極的発言+積極的行動=挑戦)

検証&改善(今年のまとめ)

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	実施率	達成状況の確認	自己評価	評価	委員の皆様のご意見等	総括
知識・技能の習得と 思考力・判断力・表現力の育成	①【定期テスト】 個人目標値を達成した生徒 70%以上 ②【生徒アンケート】 「授業がわかる」肯定的回答80%以上 ③<長期> ◆市学力調査の平均正答率が目標値以上の生徒 70%以上	学校 □個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	⑦授業者は、生徒が考え・OUTPUTする時間と学びの成果を実感する振り返りの時間を、毎時間確保する。【OUTPUT重視の授業づくり】 ⑧授業者は、努力を要する生徒への手立てを毎時間講じるとともに、ICT等を活用し習熟度に応じた個別課題を提示する。【個別最適な学び】 ⑨生徒の考えを広げ深めるために、子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手がかりに考えること等を、毎時間実施する。【協働的な学び】	100%	①達成率：126% 目標達成 1年 2年 3年 人数 6 3 5 全体 88% ②達成率：118% 目標達成 1年 2年 3年 % 86 100 100 全体 94%	【学校自己評価】 ⑦教職員評価 肯定回答100% ⑧教職員評価 肯定回答100% ⑨生徒に自分の考えを持たせる取組や学んだことをOUTPUTする取組、個に応じた支援の取組に全職員で取り組むことができ、成果につながった。 ○本年度の課題でもあった積極発言・積極行動に全校をあげて取り組み、生徒が授業中に積極的な言動を行うようになった。	A B C	○田染中の独自の良さ(個別最適な学校・特色ある学校等)を経営方針としてよい。今後も定としてほしい。 ○一人一人にあった手だてを講じてもらえるので、子どもたちは幸福だ。 ○考えて発言していることが多くなったように思え、自律心が育っている。 ○共有認識を持ちつつ積み重ねができてきている。 ○端末を活用して、個人に合った学習ができてきている。 ○できるだけ学校支援をしたいと考えている。してほしいことを伝えてください。 ○生徒の良い点と伸ばすとともに、苦手な点も克服できるようにしてほしい。 ○地域ボランティア組織の名簿や行事の周知を徹底してほしい。	【評価】 委員の方々からは、肯定的な意見をいただいた。 【成果】 長期の達成指標であった市学力調査の結果も目標を達成することができた。 本年度、取り組んできたOUTPUTを意識した授業づくりの取組や個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の取組が成果につながったと考える。 【課題】 2極化傾向が見られる。その改善が来年度の課題である。 【改善】 ICTを効果的に活用し、個々の課題を克服する個別最適な学びを強化する。
		家庭 家庭学習の充実	□保護者は、生徒が毎日、規則正しい生活を送れるようにする。(早寝・早起き・朝ごはん)	100%	③達成率：106% ①市学力調査の目標値達成生徒数 学年 1年 2年 国 6 3 社 3 4 数 3 2 理 5 4 英 4 3 集計 21 16 70% 80% 全体 74%	【保護者の評価】 ○学校生活の土台であるので、できるように努力した。 ○朝食をとるように取り組んだ。 ▲中学生と言えども、保護者がタイムマネジメントに協力しないと継続できない。			
		地域 学習支援の充実	□ゲストティーチャーや学習サポーターとして学校行事や体験学習の支援を行う。 □地域ボランティア組織を実働する。	100%	【地域の方の評価】 ○地域ボランティア組織を活用した取組が本年度2回できた。 ○本年度も多くのゲストティーチャーや学習サポーターが授業に参加できた。				
自ら学習を強く調整しながら取り組む態度の育成	①【生徒・教職員アンケート】 「授業などの学校の活動の中で、積極的発言や積極的行動をすることができた。」生徒・職員肯定70%以上 ②【生徒アンケート】 「生活改善計画やテスト勉強計画、メディアコントロール計画、フリー学習などの自分自身で行う活動は、自分の成長につながっている。」肯定70%以上	学校 自分で考え、積極的に挑戦する取組の充実	⑦教職員は、授業や行事において、生徒が挑戦(積極的発言や積極的行動)できる場を毎回設定し、工夫する。また、結果よりも挑戦した勇気や過程を評価する。 ⑧生徒は、生活改善(学期ごと)やテスト勉強(2ヶ月ごと)、メディアコントロール(2ヶ月ごと)、フリー学習(週3回)について、自分で計画を立て実行し、検証・改善を実施する。 ⑨授業者は、生徒指導の3機能を意識した授業づくりを、毎時間行う。(自分で考える→発表する→良さを共感する)	100%	①達成率：121% 教職員評価 学年 人数 % ①肯定的回答の割合 1 6 100 2 4 100 3 4 80 全校 88 生徒評価 学年 人数 % ①肯定的回答の割合 1 6 86 2 3 75 3 4 80 全校 81	【学校自己評価】 ⑦教職員評価 肯定回答100% ⑧教職員評価 肯定回答100% ⑨本年度の課題であった「積極性の向上」に全校で取組を行った結果、授業中や学校行事、生徒会活動において、変容が見られた。自ら物怖じせずに意見等を発表する姿が見られるようになってきた。	A B C	○生徒の個別の課題をしっかりと捉え、今後の方針の確立に取り組んでいてよい。今後も定としてほしい。 ○一人一人が自分で行動でき、工夫もできるということはすばらしい。 ○生徒自ら、勉強とメディアの時間を決めて行動していると感じます。 ○先生と生徒が積極的・意欲的に取り組んでいることがわかります。 ○積極的発言や積極的行動の目標のもと、授業においても、意識した姿が見られた。 ○携帯電話・メディアとうまく付き合う力をつけていくことが必要である。 ○移住してきた生徒にも「郷土を愛し」の目的で、田染地域固有の民俗(失われつつ行事)の伝承を求めたい。	【評価】 委員の方々からは、肯定的な意見をいただいた。 【成果】 積極的発言や積極的行動に挑戦する取組や自律する力を向上させる取組の効果で、積極的に挑戦する力が向上した。来年度、更に伸ばしたい。 【課題】 来年度の課題として、自律する力の向上があげられる。今年度、目標達成もできなかった。3年間の取組の総括をし、ブラッシュアップした新たな取組が望まれる。 【改善】 現行の取組をベースに複数の取組を整理し、取組を焦点化して取組の徹底を図りたい。
		家庭 □生徒の自律的取組の支援	□保護者は、生活改善やテスト勉強、メディアコントロールなどの自律的取組の際に、家庭と一緒に取り組んだり、励ましたりするなどの支援を行う。	100%	②達成率：99% ②肯定的回答の割合 学年 人数 % 1 4 57 2 3 75 3 4 80 全校 11 69	【保護者の評価】 ○取組には、協力できた。 ○日頃から自分でできている子もいて、よく努力している。認めてあげたい。 ▲励ましたり、頑張りを認める声かけを行うのは難しい。小言が多くなる。			
		地域 □授業改善の取組への理解と協力	□地域は、学校公開日等の授業を参観または授業に参加し、アンケートなどの検証・改善に協力する。	100%	【地域の方の評価】 ○公開日で授業を参観したが、生徒たちは、楽しそうに授業をしていた。 ○1時間じっくり長く授業を見るのも良いと思う。 ▲スケジュールが合えばもっと参加したい。参加率を上げたい。				